

基礎科目(歴史学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC223	史学史 A		1	1.5	1・2				ピーター・パーク著・佐藤公彦訳『歴史学と社会理論』を輪読し、内容を議論する。	西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。
02DC224	史学史 B		1	1.5	1・2				パミラ・カイル・クロスリー著・佐藤彰一訳『グローバル・ヒストリーとは何か』を輪読し、内容を議論する。	西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。

専門科目(歴史学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC241	日本史特講I A		1	1.5	1 - 5	春ABC	木4,5	朴 宣美	日本を中心に、宣教師、女教師、留学生などがいかに国・地域を超えて移動して行き、移動先で何を行い、それによって形成されていった新しい意識は何かを考察する。	隔週開講
02DC242	日本史特講I B		1	1.5	1 - 5	秋ABC	木4,5	朴 宣美	朝鮮を中心に、宣教師、女教師、留学生などがいかに国・地域を超えて移動して行き、移動先で何を行い、それによって形成されていった新しい意識は何かを考察する。	隔週開講
02DC243	日本史特講II A		1	1.5	1 - 5				日本近現代史に関する共通テキストと資料の輪読およびフィールドワークを通じて、日本近現代史に関する専門的知識と研究動向・研究方法を習得する。	2019年度開講せず。
02DC244	日本史特講II B		1	1.5	1 - 5				日本近現代史に関する共通テキストと資料の輪読およびフィールドワークを通じて、日本近現代史に関する専門的知識と研究動向・研究方法を習得する。	2019年度開講せず。
02DC245	日本史特講III A		1	1.5	1 - 5	春ABC	月4,5	山澤 学	北野天満宮を事例として、先行研究の検討、神社史料(筑波大学所蔵北野神社文書「就仮遷宮深齋中雜録」、未公刊)の読解を行い、日本宗教社会史研究における基礎的知識と研究方法を講ずる。必要に応じて履修者には報告も求める。	隔週開講
02DC246	日本史特講III B		1	1.5	1 - 5	秋ABC	月4,5	山澤 学	北野天満宮を事例として、神社史料(筑波大学所蔵北野神社文書「就仮遷宮深齋中雜録」、未公刊)の読解をしつつ、史料を読解する際の分析視角を考える。必要に応じて履修者には報告も求める。	隔週開講
02DC247	日本史演習I A		2	1.5	1 - 5				近代東アジアにおける「知の交流」・「人の交流」の問題について考察する。関連文献を講読し、テキスト批判トレーニングを行う。	2019年度開講せず。
02DC248	日本史演習I B		2	1.5	1 - 5				近現代東アジアにおける文化交流や人々のアジア認識について考察する。関連文献を講読し、テキスト批判トレーニングを行う。	2019年度開講せず。
02DC249	日本史演習II A		2	1.5	1 - 5	春ABC	金3	伊藤 純郎	東郷和彦・波多野澄雄編『歴史問題ハンドブック』(岩波書店、2015年)をテキストに、現在も続く様々の「歴史問題」について、各自の問題意識にもとづき報告する。	
02DC250	日本史演習II B		2	1.5	1 - 5	秋ABC	金3	伊藤 純郎	東郷和彦・波多野澄雄編『歴史問題ハンドブック』(岩波書店、2015年)をテキストに、現在も続く様々の「歴史問題」について、各自の問題意識にもとづき報告する。	
02DC251	日本史演習III A		2	1.5	1 - 5				近代東アジアにおける「知の交流」・「人の交流」の問題について考察する。関連文献を講読し、テキスト批判トレーニングを行う。	2019年度開講せず。
02DC252	日本史演習III B		2	1.5	1 - 5				近代東アジアにおける「他者認識」、「知の交流」・「人の交流」の問題について考察する。関連文献を講読し、テキスト批判トレーニングを行う。	2019年度開講せず。
02DC253	日本史演習IV A		2	1.5	1 - 5				18世紀中期の政治と社会について、寛政期の弘前藩藩主津軽信明の「在国日記」を読み進めることで、地域社会の変動との関わりで捉える。このことによって、18世紀中期以降の近世日本社会の変容を内的社会変化と北からのグローバル化への端緒として捉える検討を行う。	2019年度開講せず。
02DC254	日本史演習IV B		2	1.5	1 - 5				寛政から文化期の18世紀から19世紀初頭のロシアによる北からのグローバル化を地域社会との関わりで考える。関連文献を講読し、テキスト批判トレーニングを行う。	2019年度開講せず。
02DC255	日本政治史特講 A		1	1.5	1 - 5				奈良時代の宣命を読む。	2019年度開講せず。
02DC256	日本政治史特講 B		1	1.5	1 - 5				宣命から奈良時代の思想を考える。	2019年度開講せず。
02DC257	日本社会経済史特講 A		1	1.5	1 - 5				天明から寛政期の弘前藩主であった津軽信明の「在国日記」を読解し、当該期の社会状況について検討する。	2019年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC258	日本社会経済史特講 B	1	1.5	1 - 5					寛政期前半を中心として、弘前藩の藩庁日記を読解し、18世紀後半の近世社会像を考察する。	2019年度開講せず。
02DC259	日本社会史特講 A	1	1.5	1 - 5					日本近現代史に関する共通のテキストと史料の輪読およびフィールドワーク・地域調査を通じて、日本近現代史に関する専門的知識と研究動向・研究方法を習得する。	2019年度開講せず。
02DC260	日本社会史特講 B	1	1.5	1 - 5					日本近現代史に関する共通のテキストと史料の輪読およびフィールドワーク・地域調査を通じて、日本近現代史に関する専門的な知識と研究動向・研究方法を習得する。 あわせて修士論文・博士論文の指導も行う。	2019年度開講せず。
02DC261	日本文化史特講 A	1	1.5	1 - 5					近代における漢学思想の意味について、漢学塾長善館館主の日記を解読することを通して考察する。	2019年度開講せず。
02DC262	日本文化史特講 B	1	1.5	1 - 5					近代における漢学思想の意味について、漢学塾長善館館主の日記の解読を通して考察する。	2019年度開講せず。
02DC263	日本思想史特講 A	1	1.5	1 - 5					最近の新発見史料である岩倉具視宛書簡を中心に検討していく。	2019年度開講せず。
02DC264	日本思想史特講 B	1	1.5	1 - 5					最近の新発見史料である岩倉具視宛書簡を中心に検討していく。	2019年度開講せず。
02DC265	日本宗教社会史特講 A	1	1.5	1 - 5					中~近世日本宗教社会史に関する史料を読解し、検討する。当科目では先行研究を確認しつつ、未公開の筑波大学所蔵北野神社文書の写真版を読解、検討する。	2019年度開講せず。 隔週開講
02DC266	日本宗教社会史特講 B	1	1.5	1 - 5					中~近世日本宗教社会史に関する史料を読解し、検討する。当科目では未公開の筑波大学所蔵北野神社文書の写真版を検討し、論文作成に向けた、研究上の新たな論点を検討する。	2019年度開講せず。 隔週開講
02DC267	日本史史料学特講 A	1	1.5	1 - 5					書簡史料の読解を通して近代史料学の構築を模索する。	2019年度開講せず。
02DC268	日本史史料学特講 B	1	1.5	1 - 5					書簡史料の読解を通して近代史料学の構築を模索する。	2019年度開講せず。
02DC269	日本政治史演習 A	2	1.5	1 - 5	春ABC	火4	人社 B707	三谷 芳幸	『令集解』のテキスト読解と、それを踏まえた日中の制度比較などを行う。	
02DC270	日本政治史演習 B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	火4	人社 B707	三谷 芳幸	『令集解』のテキスト読解と、それを踏まえた日中の制度比較などを行う。	
02DC271	日本社会経済史演習 A	2	1.5	1 - 5					天明から寛政期にかけての弘前藩主津軽信の「在国日記」(国文学研究資料館蔵)を中心として18世紀後半の社会状況を考察する。	2019年度開講せず。
02DC272	日本社会経済史演習 B	2	1.5	1 - 5					18世紀後半における近世社会の危機について、「内憂外患」という表現の多面的な内容を検討する。	2019年度開講せず。
02DC273	日本社会史演習 A	2	1.5	1 - 5					「歴史問題」について、戦争・植民地支配と責任、加害・被害と補償の観点から考察する。	2019年度開講せず。
02DC274	日本社会史演習 B	2	1.5	1 - 5					「歴史問題」について、戦争・植民地支配と責任、加害・被害と補償の観点から考察する。	2019年度開講せず。
02DC275	日本文化史演習 A	2	1.5	1 - 5	春ABC	火2		中野目 徹	近代における漢学思想の意味について、漢学塾長善館継嗣の日記を解読することを通して考察する。	
02DC276	日本文化史演習 B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	火2		中野目 徹	近代における漢学思想の意味について、漢学塾長善館継嗣の日記の解読を通して考察する。	
02DC277	日本思想史演習 A	2	1.5	1 - 5					近代における漢学思想の意味について、漢学塾の塾長の日記を取り上げて考察する。	2019年度開講せず。
02DC278	日本思想史演習 B	2	1.5	1 - 5					近代における漢学思想の意味について、漢学塾の塾長の日記を取り上げて考察する。	2019年度開講せず。
02DC279	日本宗教社会史演習 A	2	1.5	1 - 5					近世日本宗教社会史に関する史料を読解し、検討する。当科目では先行研究を確認しつつ、未公開の筑波大学所蔵北野神社文書の写真版を読解、検討する。	2019年度開講せず。 隔週開講
02DC280	日本宗教社会史演習 B	2	1.5	1 - 5					近世日本宗教社会史に関する史料を読解し、検討する。当科目では未公開の筑波大学所蔵北野神社文書の写真版を検討し、論文作成に向けて、研究上の論点を検討する。	2019年度開講せず。 隔週開講
02DC283	日本史基礎実習	3	1.0	1・2					日本史研究の基礎的な方法論を修得するため、史料調査を実地に行う。	西暦偶数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC284	日本史研究法実習	3	1.0	1・2	春C	集中		日本史学領域教員	史料調査および博物館・文書館等見学などのフィールドワークを通じ、日本史学研究における専門的な方法論を修得し、あわせて問題点を検討する。とくに古代史の視点から三谷芳幸、中世史・近世史の視点から山澤学、近現代史の視点から伊藤純郎・中野目徹・朴宣美の指導を受けつつ、通史を意識した事前学習・フィールドワーク(1泊2日)・事後学習を行う。なお、フィールドおよびテーマは、履修者の関心によって決定する。	西暦奇数年度開講。
02DC285	日本史研究基礎演習I A	2	1.5	1	春ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	大学院生として身につけるべき史料の解釈とその歴史の意味についての考察を深化させる。	
02DC286	日本史研究基礎演習I B	2	1.5	1	秋ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	調査の上で収集した史料の解釈とその歴史の意味について、研究史の上に位置づけながら考察をより深化させる。	
02DC287	日本史研究基礎演習II A	2	1.5	2	春ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	日本史研究の方法論を確認し、解読という実証の深化をめざす。修士論文の作成に向け、具体的な構想を提示する。	
02DC288	日本史研究基礎演習II B	2	1.5	2	秋ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	日本史研究のための基盤となる能力を高める。実証性の深化の上に、自らの研究の論理化した歴史過程を呈示し、修士論文としての完成をめざす。	
02DC289	日本史研究指導演習I A	2	1.5	3	春ABC	応談		日本史学領域教員	課程博士論文作成のための3年次対応の演習である。修士論文を基礎として、より高次の実証性と論理性の獲得を図る。	
02DC290	日本史研究指導演習I B	2	1.5	3	秋ABC	応談		日本史学領域教員	課程博士論文作成のための3年次対応の演習である。論文としての構想を広げるとともに、研究上への位置づけを明確化し、博士論文の基礎となるべき学術論文作成を図る。	
02DC291	日本史研究指導演習II A	2	1.5	4	春ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	博士論文作成のための4年次対応の演習である。学術論文作成の上に、より高次に論理を整合させた課題設定を行う。	
02DC292	日本史研究指導演習II B	2	1.5	4	秋ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	課程博士論文作成のための4年次対応の演習である。博士論文作成のための基盤となるべき課題を全体構想のなかに位置づけた学術論文の作成を図る。	
02DC293	日本史研究指導演習III A	2	1.5	5	春ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	課程博士論文作成のための5年次対応の演習である。全体構想の提示を行い、基軸となる論点を明確化する。	
02DC294	日本史研究指導演習III B	2	1.5	5	秋ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	課程博士論文作成のための5年次対応の演習である。構想の基軸となる論文を提示し理論的裏付けを明確化する。	
02DC295	日本史研究指導演習IV A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	課程博士論文作成をめざす3から5年次の演習である。これまでの既発表学術論文の再構成の上に博士論文としての実証性の深化を図る。	
02DC296	日本史研究指導演習IV B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	課程博士論文作成のための3から5年次対応の演習である。論文を研究史上へいかに位置づけ、新たな学術性を獲得することをめざした指導をおこなう。	
02DC297	日本史研究指導演習V A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	課程博士論文作成のための3から5年次のための演習である。博士論文の完成に向け、実証内容の深化のうえに、研究上新たな知見を提示した、博士論文の全体概要を提示するべく指導を行う。	
02DC298	日本史研究指導演習V B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	課程博士論文作成のための3から5年次対応の演習である。博士論文の全体構成を提示させ、実証内容の一層の深化のみならず、学術論文としての論理性を高め、研究上新たな地平を切り開くべく指導を行う。	
02DC323	東洋史特講II A	1	1.5	1 - 5					中国近現代社会・経済史、華僑史、台湾現代史に関わるテキストを受講者と講読し、内容について議論する。	教室:8A101 01DQ367と同一。 2019年度開講せず。
02DC324	東洋史特講II B	1	1.5	1 - 5					中国近現代社会・経済史、華僑史、台湾現代史に関わるテキストを受講者と講読し、内容について議論する。	教室:8A101 01DQ369と同一。 2019年度開講せず。
02DC325	東洋史特講III A	1	1.5	1 - 5					清代雍正元年~乾隆10年代の錢法について解説した上で、当該時期の錢法に関する檔案史料を受講生全員で講読し、官撰書の記載内容と比較しながら、檔案史料から読み取れる事実関係について議論する。	2019年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC326	東洋史特講III B	1	1.5	1 - 5					清代雍正元年~乾隆10年代の銅政について解説した上で、当該時期の銭法に関する檔案史料を受講生全員で講読し、官撰書の記載内容と比較しながら、檔案史料から読み取れる事実関係について議論する。	2019年度開講せず。
02DC331	東洋史特講VI A	1	1.5	1 - 5						2019年度開講せず。
02DC332	東洋史特講VI B	1	1.5	1 - 5						2019年度開講せず。
02DC333	東洋史特講VII A	1	1.5	1 - 5	春ABC	火5	人社B817	丸山 宏	オックスフォード大学ボードレアン図書館所蔵のOx. Sin. 3421『貢筵紅樓秘語』の前半部分を分担して講読し、その内容を討論しながら、ランテン系ヤオ族における道教と師教の差異性と共通性がどのように表現されているかを理解していく。	01DQ337と同一。
02DC334	東洋史特講VII B	1	1.5	1 - 5	秋ABC	火5	人社B817	丸山 宏	オックスフォード大学ボードレアン図書館所蔵のOx. Sin. 3421『貢筵紅樓秘語』の後半部分を分担して講読し、その内容を討論しながら、ランテン系ヤオ族における師教と民間信仰の重要性を理解していく。	01DQ339と同一。
02DC343	東洋史演習III A	2	1.5	1 - 5	春ABC	金6	人社B817	上田 裕之	清代雍正元年~乾隆10年代の銭法について解説した上で、当該時期の銭法に関する檔案史料を受講生全員で講読し、官撰書の記載内容と比較しながら、檔案史料から読み取れる事実関係について議論する。	01DQ392と同一。
02DC344	東洋史演習III B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	金6	人社B817	上田 裕之	清代雍正元年~乾隆10年代の銅政について解説した上で、当該時期の銭法に関する檔案史料を受講生全員で講読し、官撰書の記載内容と比較しながら、檔案史料から読み取れる事実関係について議論する。	01DQ393と同一。
02DC345	東洋史演習IV A	2	1.5	1 - 5					清朝の檔案史料を講読し、檔案史料を利用して歴史叙述を行うための基礎的能力を養う。	漢文(古典漢語)の読解能力を既に一定程度有している者のみ受講を認める。 01DP207と同一。 2019年度開講せず。
02DC346	東洋史演習IV B	2	1.5	1 - 5					清朝の檔案史料を講読し、檔案史料を利用して歴史叙述を行うための実践的能力を養う。	漢文(古典漢語)の読解能力を既に一定程度有している者のみ受講を認める。 01DP208と同一。 2019年度開講せず。
02DC349	東洋史演習VI A	2	1.5	1 - 5					清代中期の檔案史料を講読し、清朝の文書行政に対する理解を深める。	漢文(古典漢語)の読解能力を既に一定程度有している者のみ受講を認める。 01DP203と同一。 2019年度開講せず。
02DC350	東洋史演習VI B	2	1.5	1 - 5					清代中期の檔案史料を講読し、清朝の政策過程について歴史的に考察する能力を修得する。	漢文(古典漢語)の読解能力を既に一定程度有している者のみ受講を認める。 01DP204と同一。 2019年度開講せず。
02DC351	東洋史演習VII A	2	1.5	1 - 5					この演習においては、清代の中国南部におけるヤオ族が漢文で書写した道教儀礼文献のマニュスクリプトを解読し、その意義について検討する。特に死者儀礼の中心部分を占める行道儀礼等の項目を扱いたい。学生による解読成果の報告とそれに対する質疑応答を行う。	01DQ384と同一。 2019年度開講せず。
02DC352	東洋史演習VII B	2	1.5	1 - 5					この演習においては清代の中国南部のヤオ族が漢文で書写した道教儀礼文献を解読し、その意義を検討する。特に民族社会の死者儀礼における奏章と煉度の方法の記述に注目していく。学生には解読成果の報告を求め、質疑応答を行う。	01DQ388と同一。 2019年度開講せず。
02DC353	東洋史演習VIII A	2	1.5	1 - 5					中国近現代社会経済に関する研究書や論文を参加者と輪読し、内容について討論する。社会史研究の方法を重点的に学ぶ。	01DQ321と同一。 2019年度開講せず。
02DC354	東洋史演習VIII B	2	1.5	1 - 5					中国近現代社会経済史に関する研究書や論文を参加者と輪読し、内容について討論する。とくに社会史研究の方法を重点的に学ぶ。	01DQ323と同一。 2019年度開講せず。
02DC359	東洋社会史特講 A	1	1.5	1 - 5					近現代における中国・台湾・東南アジア華人に関わる社会史の諸問題を論じる。当該分野の先行研究や関連文献を受講者ととともに講読していく。	01DQ361と同一。 2019年度開講せず。 テキストは受講者と相談して決定する。成績は出席と授業への積極的な参加状況に基づき決定する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC360	東洋社会史特講 B	1	1.5	1 - 5					近現代における中国・台湾・東南アジア華人に関わる社会史の諸問題を論じる。当該分野の先行研究や関連文献を受講者ととともに講読していく。	01DQ363と同一。 2019年度開講せず。 テキストは受講者と相談して決定する。成績は出席と授業への積極的な参加状況に基づき決定する。
02DC363	東洋制度史特講 A	1	1.5	1 - 5					清朝の文書行政制度について、档案史料を受講生とともに講読しながら解説する。	2019年度開講せず。
02DC364	東洋制度史特講 B	1	1.5	1 - 5					清朝の文書行政制度について、档案史料を受講生とともに講読しながら解説し、受講生各自の研究との関連について議論する。	2019年度開講せず。
02DC369	東洋文化史特講 A	1	1.5	1 - 5					この授業においては、中国の清代末期に漢文で書かれたヤオ族の儀礼文献を精読し、中国南部において漢族の文化を少数民族がいかに受容し再構築したかという文化史上の問題を史料の講読を交えて講義形式で考察する。主としてヤオ族の道教による葬儀の重要な内容を検討する。	01DQ331と同一。 2019年度開講せず。
02DC370	東洋文化史特講 B	1	1.5	1 - 5					この授業においては中国清代末期の手書きの漢文で書かれたヤオ族の儀礼文献を精読し、漢族の道教をヤオ族がいかに理解し彼等なりに再構築したかについて考察する。特にヤオ族の道教式葬儀における儀礼項目の意味づけに注目する。中国南部の漢族と少数民族の間における、文化接触と文化交流の具体的な表れとして、史料から読み取り得る問題について考察したい。	01DQ333と同一。 2019年度開講せず。
02DC371	東洋政治史演習 A	2	1.5	1 - 5					前近代中国の民族基層社会における儀礼言説の政治性について、民間写本の解説を通じて、多面的に考察する。ヤオ族の道教の儀礼空間、地獄観、死者の裁判を取りあげ、政治性と宗教性の異同を検討する。	教室:8A409 01DQ395と同一。 2019年度開講せず。
02DC372	東洋政治史演習 B	2	1.5	1 - 5					前近代中国の民族基層社会における儀礼言説の政治性について、民間写本の解説を通じて、多面的に考察する。ヤオ族の道教の朝調、誦経、賜食などを取り上げ、政治性と宗教性の異同を検討する。	教室:8A409 01DQ396と同一。 2019年度開講せず。
02DC373	東洋経済史演習 A	2	1.5	1 - 5	春ABC	金4	8A101	山本 真	主に近代史に関する村松裕次『中国経済の社会態制』東洋経済新報社、1975年を輪読し、中国近現代の社会・経済の構造を議論する。ただし加藤弘之『中国経済入門 曖昧な制度はいかに機能しているか』2016年;天児慧『中国政治の社会態制』2018年などの現代的視角からの最新の構造論の研究書も参照する。なお中国語テキストを参照することもあるので履修には中国語理解力が求められる。	01DQ327と同一。
02DC374	東洋経済史演習 B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	金4	8A101	山本 真	張樂天著『告別理想—人民公社制度研究』全14章を輪読し、内容を議論する。	主に柏祐賢『経済秩序個性論』柏祐賢著作集、第4巻、1985-1986年(初出:人文書林 昭和22-23年刊)を輪読し、中国近現代の社会・経済の構造を議論する。ただし張思『近代華北村落共同体の変遷』2005年など;旗田巍『中国村落と共同体理論』岩波書店、1973年なども適宜参照する。履修には中国語理解力が求められる。 01DQ329と同一。
02DC379	東洋制度史演習 A	2	1.5	1 - 5					清朝の档案史料の講読を通して、清朝の行政機構・政策過程について考察し、皇帝や各官僚それぞれの視点の相違を踏まえた多面的な歴史叙述へと結びつけていくための基礎的な知識を獲得する。	2019年度開講せず。
02DC380	東洋制度史演習 B	2	1.5	1 - 5					清朝の档案史料の講読を通して、清朝の行政機構・政策過程について考察し、皇帝や各官僚それぞれの視点の相違を踏まえた多面的な歴史叙述へと結びつけていくための能力を涵養する。	2019年度開講せず。
02DC389	東洋史研究基礎演習I A	2	1.5	1	春ABC	水2	人社 B817	東洋史学領域教員	1年次生を対象とする春学期の研究演習。研究テーマに関する先行研究の整理、基本的史料の利用方法等について、基礎的演習を行う。	
02DC390	東洋史研究基礎演習I B	2	1.5	1	秋ABC	水2	人社 B817	東洋史学領域教員	1年次生を対象とする秋学期の研究演習。研究テーマに関する先行研究の整理、基本的史料の利用方法等について、基礎的演習を行う。	
02DC391	東洋史研究基礎演習II A	2	1.5	2	春ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	2年次生を対象とする春学期の研究演習。中間評価論文作成にむけて、総括的指導を行う。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC392	東洋史研究基礎演習II B	2	1.5	2	秋ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	2年次生を対象とする秋学期の研究演習。中間評価論文作成にむけて、総括的指導を行なう。	
02DC393	東洋史研究演習I A	2	1.5	3	春ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	3年次生を対象とする春学期の研究演習。関連する隣接諸科学の知識の習得、新たな史料の発掘とその利用について指導する。	
02DC394	東洋史研究演習I B	2	1.5	3	秋ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	3年次生を対象とする秋学期の研究演習。関連する隣接諸科学の知識、新たな史料の発掘とその利用について指導を行う。	
02DC395	東洋史研究演習II A	2	1.5	4	春ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	4年次生を対象とする春学期の研究演習。博士論文の内容構成、史料の利用法、論文の全体的な構想の修正と補強に関して、具体的な指導を行う。	
02DC396	東洋史研究演習II B	2	1.5	4	秋ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	4年次生を対象とする秋学期の研究演習。博士論文の内容構成、史料の利用方法、論文の全体的な構想の修正と補強に関して具体的な指導を行う。	
02DC397	東洋史研究演習III A	2	1.5	5	春ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	5年次生を対象とする春学期の研究演習。博士論文提出に関する、各段階での具体的な指導を行う。	
02DC398	東洋史研究演習III B	2	1.5	5	秋ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	5年次生を対象とする秋学期の研究演習。博士論文提出に関する各段階での具体的な指導を行う。	
02DC399	東洋史研究演習IV A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	3~5年次生を対象とする春学期の研究演習。学会発表、論文投稿等の指導を通じて、自立的な研究能力を養う。	
02DC400	東洋史研究演習IV B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	3~5年次生を対象とする秋学期の研究演習。学会発表、論文投稿等の指導を通じて、自立的な研究能力を養う。	
02DC401	東洋史研究演習V A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	3~5年次生を対象とする春学期の研究演習。博士論文の完成にむけて、構成や内容について具体的な指導を行う。	
02DC402	東洋史研究演習V B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	3~5年次生を対象とする秋学期の研究演習。博士論文の完成にむけて、構成や内容の具体的な指導を行う。	
02DC421	西洋史特講I A	1	1.5	1 - 5					楔形文字文書を原典から講読し、メソポタミアの歴史と文化を学ぶ。	2019年度開講せず。
02DC422	西洋史特講I B	1	1.5	1 - 5					楔形文字文書を原典から講読し、メソポタミアの歴史と文化を学ぶ。	2019年度開講せず。
02DC423	西洋史特講II A	1	1.5	1 - 5	春ABC	火5	山田 重郎		楔形文字の原典から種々の歴史文書を文献学的に正確に読み、その内容について考察する。この授業では特に前9世紀から前8世紀の史料を講読する。	
02DC424	西洋史特講II B	1	1.5	1 - 5	秋ABC	火5	山田 重郎		楔形文字の原典から種々の歴史文書を文献学的に正確に読み、その内容について考察する。この授業では特に前8世紀末から前6世紀の史料を講読する。	
02DC425	西洋史特講III A	1	1.5	1 - 5					楔形文字アッカド語史料を講読し、この史料を手がかりに前2・1千年紀メソポタミアの文化史について学ぶ。	2019年度開講せず。
02DC426	西洋史特講III B	1	1.5	1 - 5					楔形文字アッカド語史料を講読し、この史料を手がかりに前2・1千年紀メソポタミアの宗教史について学ぶ。	2019年度開講せず。
02DC427	西洋史特講IV A	1	1.5	1 - 5					シュメル語文法を学習したうえで、平易な楔形文字シュメル語文書を読む。	2019年度開講せず。
02DC428	西洋史特講IV B	1	1.5	1 - 5					楔形文字文書を講読する。	2019年度開講せず。
02DC429	西洋史特講V A	1	1.5	1 - 5					近代史研究に関する主要なトピックについて文献を講読し、議論する。	2019年度開講せず。
02DC430	西洋史特講V B	1	1.5	1 - 5					近代史研究に関する主要なトピックについて文献を講読し、議論する。	2019年度開講せず。
02DC431	西洋史特講VI A	1	1.5	1 - 5	春ABC	木6	村上 宏昭		現代史研究に関わる主要なトピックについて文献を講読し、議論する。	
02DC432	西洋史特講VI B	1	1.5	1 - 5	秋ABC	木6	村上 宏昭		現代史に関する主要なテーマについて史料を講読し、議論する。	
02DC433	西洋史特講VII A	1	1.5	1 - 5					20世紀前半のアメリカ史に関する英語文献を講読する。	西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。
02DC434	西洋史特講VII B	1	1.5	1 - 5					20世紀後半のアメリカ史に関する英語文献を講読する。	西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。
02DC435	西洋史特講VIII A	1	1.5	1 - 5					近現代のイギリス帝国史に関する英語文献(とくに研究書)の講読	2019年度開講せず。
02DC436	西洋史特講VIII B	1	1.5	1 - 5					近現代のイギリス帝国史に関する英語文献(とくに1次史料)の講読	2019年度開講せず。
02DC437	西洋史特講IX A	1	1.5	1 - 5					アメリカ合衆国における人種・エスニシティをめぐる問題を歴史的に考察する。植民地時代から南北戦争までの時代に焦点を当てる。	2019年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC438	西洋史特講IX B	1	1.5	1 - 5					アメリカ合衆国における人種・エスニシティをめぐる問題を歴史的に考察する。南北戦争から20世紀初頭までの時代に焦点を当てる。	2019年度開講せず。
02DC439	西洋史特講X A	1	1.5	1 - 5					「アメリカとイスラム」というテーマで、アメリカ合衆国におけるイスラム教徒の歴史と現状について考察する。	2019年度開講せず。
02DC440	西洋史特講X B	1	1.5	1 - 5					アメリカ合衆国が国家としてどのように難民を受け入れてきたのかを歴史的に検討するとともに、現代の難民問題にいかに対処しているのかを学ぶ。	2019年度開講せず。
02DC441	西洋史特講XI A	1	1.5	1 - 5	春ABC	火3	8A409	佐藤 千登勢	黒人史の主要な一次史料を講読し議論する。	西暦奇数年度開講。01DQ062と同一。
02DC442	西洋史特講XI B	1	1.5	1 - 5	秋ABC	火3	8A409	佐藤 千登勢	黒人史の主要な一次史料を講読し議論する。	西暦奇数年度開講。01DQ064と同一。
02DC443	西洋史特講XII A	1	1.5	1 - 5					20世紀前半のアメリカ史に関する英語文献を講読する。	教室:8A409 西暦偶数年度開講。01DQ061と同一。 2019年度開講せず。
02DC444	西洋史特講XII B	1	1.5	1 - 5					20世紀後半のアメリカ史に関する英語文献を講読する。	教室:8A409 西暦偶数年度開講。01DQ063と同一。 2019年度開講せず。
02DC445	西洋史史料研究I A	2	1.5	1 - 5					楔形文字の原典からアッカド語で書かれた王碑文を講読する。	参加者はアッカド語の基礎的知識を持つ者に限る。 2019年度開講せず。
02DC446	西洋史史料研究I B	2	1.5	1 - 5					楔形文字の原典からアッカド語で書かれた書簡と歴史学文書を講読する。	参加者はアッカド語の基礎的知識を持つ者に限る。 2019年度開講せず。
02DC447	西洋史史料研究II A	2	1.5	1 - 5					楔形文字の原典から前2千年紀にアッシリア方言で書かれた諸文書を講読する。	2019年度開講せず。
02DC448	西洋史史料研究II B	2	1.5	1 - 5					楔形文字の原典から前1千年紀にアッシリア方言で書かれた諸文書を講読する。	2019年度開講せず。
02DC449	西洋史史料研究III A	2	1.5	1 - 5					紀元前7世紀アッシリアにおけるアッシュルバニバル王の文書収集活動に関連する3点の書簡を講読し、他の史料も検討しながらこの王の文書収集活動について考察する。	2019年度開講せず。
02DC450	西洋史史料研究III B	2	1.5	1 - 5					紀元前1千年紀に書かれた宗教的内容の楔形文字文書を講読し、古代メソポタミア宗教史について考察する。	2019年度開講せず。
02DC453	西洋史史料研究V A	2	1.5	1 - 5					近代史研究に関する主要なトピックについて文献を講読し、議論する。	2019年度開講せず。
02DC454	西洋史史料研究V B	2	1.5	1 - 5					近代史に関する主要なテーマについて史料を講読し、議論する。	2019年度開講せず。
02DC455	西洋史史料研究VI A	2	1.5	1 - 5					ヨーロッパ歴史学に関する文献を講読し、それにもとづいて報告とディスカッションを行う。	2019年度開講せず。
02DC456	西洋史史料研究VI B	2	1.5	1 - 5					ヨーロッパ近現代史に関する文献を講読し、それにもとづいて報告とディスカッションを行う。	2019年度開講せず。
02DC457	西洋史史料研究VII A	2	1.5	1 - 5					第2次世界大戦以前のイギリス帝国史に関する英語文献(とくに研究書)の講読	2019年度開講せず。
02DC458	西洋史史料研究VII B	2	1.5	1 - 5					第2次世界大戦以後のイギリス帝国史に関する英語文献(とくに研究書)の講読	2019年度開講せず。
02DC459	西洋史史料研究VIII A	2	1.5	1 - 5					第2次世界大戦以前のイギリス帝国史に関する英語文献(とくに1次史料)の講読	2019年度開講せず。
02DC460	西洋史史料研究VIII B	2	1.5	1 - 5					第2次世界大戦以後のイギリス帝国史に関する英語文献(とくに1次史料)の講読	2019年度開講せず。
02DC461	西洋史史料研究IX A	2	1.5	1 - 5					現代史研究に関わる主要なトピックについて文献を講読し、議論する。	01DQ291と同一。 西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
02DC462	西洋史史料研究IX B	2	1.5	1 - 5					現代史研究に関わる主要なトピックについて文献を講読し、議論する。	01DQ292と同一。 西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
02DC463	西洋史史料研究X A	2	1.5	1 - 5	春ABC	火4		佐藤 千登勢	公民権運動に関する一次史料を講読し議論する。	
02DC464	西洋史史料研究X B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	火4		佐藤 千登勢	公民権運動に関する一次史料を講読し議論する。	
02DC465	西洋史史料研究XI A	2	1.5	1 - 5	春ABC	木5		村上 宏昭	近代史研究に関する主要なトピックについて文献を講読し、議論する。	西暦奇数年度開講。01DQ291と同一。
02DC466	西洋史史料研究XI B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	木5		村上 宏昭	歴史理論に関する主要なテーマについて史料を講読し、議論する。	西暦奇数年度開講。01DQ292と同一。
02DC467	西洋史史料研究XII A	2	1.5	1 - 5					ヨーロッパ歴史学の理論に関する文献を講読し、それにもとづいて報告とディスカッションを行う。	西暦偶数年度開講。01DQ280と同一。 2019年度開講せず。
02DC468	西洋史史料研究XII B	2	1.5	1 - 5					ヨーロッパ史学史に関する文献を講読し、それにもとづいて報告とディスカッションを行う。	西暦偶数年度開講。01DQ281と同一。 2019年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC469	西洋史演習I A	2	1.5	1 - 5					ウラルトゥ語の基礎文法を学習したうえで、ウラルトゥ語王碑文を講読する。	楔形文字アッカド語の基礎知識を持つ者に限る。 2019年度開講せず。
02DC470	西洋史演習I B	2	1.5	1 - 5					楔形文字の原典からアッカド語で書かれた王碑文の講読する。	参加者はアッカド語の基礎知識を持つ者に限る。 2019年度開講せず。
02DC471	西洋史演習II A	2	1.5	1 - 5					楔形文字の原典からアッカド語(アッシリア方言)で書かれた史料を講読する。	参加者はアッカド語の基礎知識を持つ者に限る。 2019年度開講せず。
02DC472	西洋史演習II B	2	1.5	1 - 5					楔形文字の原典からアッカド語で書かれた史料を講読する。	参加者はアッカド語の基礎知識を持つ者に限る。 2019年度開講せず。
02DC473	西洋史演習III A	2	1.5	1 - 5					楔形文字の原典からシュメル語・アッカド語で書かれた史料を講読する。	参加者はシュメル語とアッカド語の基礎知識を持つ者に限る。 2019年度開講せず。
02DC474	西洋史演習III B	2	1.5	1 - 5					楔形文字の原典からシュメル語・アッカド語で書かれた史料を講読する。	参加者はシュメル語とアッカド語の基礎知識を持つ者に限る。 2019年度開講せず。
02DC475	西洋史演習IV A	2	1.5	1 - 5	春ABC	金6		柴田 大輔	シュメル語初級文法の概要を学ぶ。	
02DC476	西洋史演習IV B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	金6		柴田 大輔	紀元前22~21世紀に作成された平易なシュメル語王碑文・法文書を楔形文字原文から読解する。	
02DC477	西洋史演習V A	2	1.5	1 - 5					歴史研究に関する文献を講読する。特にフォーコーの講義録を通して方法論上の問題意識を育む。	2019年度開講せず。
02DC478	西洋史演習V B	2	1.5	1 - 5					歴史研究に関する文献を講読する。特にフォーコーの講義録を通して方法論上の問題意識を育む。	2019年度開講せず。
02DC479	西洋史演習VI A	2	1.5	1 - 5					歴史研究に関する文献を講読する。特にブルデュのハビトゥス論を精読することで方法論上の問題意識を育む。	2019年度開講せず。
02DC480	西洋史演習VI B	2	1.5	1 - 5					歴史研究に関する文献を講読する。特にブルデュの再生産論を精読することで方法論上の問題意識を育む。	2019年度開講せず。
02DC483	西洋史演習VIII A	2	1.5	1 - 5	春ABC	火5	人社 B816	津田 博司	近現代のイギリス帝国史について、19世紀以前を対象とする研究書の講読を行いながら、受講生が各自の研究と関連性の高いテーマを選択し、発表を行う。	
02DC484	西洋史演習VIII B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	火5	人社 B816	津田 博司	近現代のイギリス帝国史について、19世紀以降を対象とする研究書の講読を行いながら、受講生が各自の研究と関連性の高いテーマを選択し、発表を行う。	
02DC485	西洋史演習IX A	2	1.5	1 - 5					アメリカ史の基本的な英語文献を講読し、20世紀のアメリカ史研究に関する理解を深める。1930年代のニューディールに関する文献を取り上げる。	2019年度開講せず。
02DC486	西洋史演習IX B	2	1.5	1 - 5					アメリカ史の基本的な英語文献を講読し、20世紀のアメリカ史研究に関する理解を深める。第二次世界大戦期のアメリカ社会に関する文献を取り上げる。	2019年度開講せず。
02DC487	西洋史演習X A	2	1.5	1 - 5					19世紀から20世紀前半のアメリカにおける社会保障・社会福祉・労働法について学ぶ。	2019年度開講せず。
02DC488	西洋史演習X B	2	1.5	1 - 5					20世紀後半のアメリカにおける社会保障・社会福祉・労働法について学ぶ。	2019年度開講せず。
02DC489	西洋史演習XI A	2	1.5	1 - 5	春ABC	火4	人社 B816	津田 博司	第2次世界大戦前のイギリスおよび旧イギリス帝国圏の歴史について、地域研究の視点を取り入れながら、英語文献を講読する。必要に応じて、受講生による発表を課す。	西暦奇数年度開講。 01DQ289と同一。
02DC490	西洋史演習XI B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	火4	人社 B816	津田 博司	第2次世界大戦後のイギリスおよび旧イギリス帝国圏の歴史について、地域研究の視点を取り入れながら、英語文献を講読する。必要に応じて、受講生による発表を課す。	西暦奇数年度開講。 01DQ290と同一。
02DC491	西洋史演習XII A	2	1.5	1 - 5					第2次世界大戦前のイギリスおよび旧イギリス帝国圏の文化・社会について、地域研究の視点を取り入れながら、英語文献を講読する。	西暦偶数年度開講。 01DQ297と同一。 2019年度開講せず。
02DC492	西洋史演習XII B	2	1.5	1 - 5					第2次世界大戦後のイギリスおよび旧イギリス帝国圏の文化・社会について、地域研究の視点を取り入れながら、英語文献を講読する。	西暦偶数年度開講。 01DQ298と同一。 2019年度開講せず。
02DC493	西洋史研究基礎演習I A	2	1.5	1	春ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究に関する演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC494	西洋史研究基礎演習I B	2	1.5	1	秋ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC495	西洋史研究基礎演習II A	2	1.5	2	春ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC496	西洋史研究基礎演習II B	2	1.5	2	秋ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC497	西洋史研究演習I A	2	1.5	3	春ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC498	西洋史研究演習I B	2	1.5	3	秋ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC499	西洋史研究演習II A	2	1.5	4	春ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC500	西洋史研究演習II B	2	1.5	4	秋ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC501	西洋史研究演習III A	2	1.5	5	春ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC502	西洋史研究演習III B	2	1.5	5	秋ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC503	西洋史研究演習IV A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC504	西洋史研究演習IV B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC505	西洋史研究演習V A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC506	西洋史研究演習V B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC521	歴史地理学特講I A	1	1.5	1 - 5					日本および英語圏の近現代の歴史地理学的諸問題について、従来の研究成果を概観するとともに、文書史料や統計、地図などの活用方法について解説する。	2017年度より3年おき開講。 2019年度開講せず。
02DC522	歴史地理学特講I B	1	1.5	1 - 5					日本の近代の歴史地理学的諸問題について、従来の研究成果を概観するとともに、文書史料や統計、地図などの活用方法について解説する。	2017年度より3年おき開講。 2019年度開講せず。
02DC523	歴史地理学特講II A	1	1.5	1 - 5					日本の絵図・地図に関して、従来の研究成果を概観するとともに、歴史地理学における活用方法について解説する。	2018年度より3年おき開講。 2019年度開講せず。
02DC524	歴史地理学特講II B	1	1.5	1 - 5					日本の文書史料と統計資料について、従来の研究成果を概観するとともに、歴史地理学における活用方法について解説する。	2018年度より3年おき開講。 2019年度開講せず。
02DC525	歴史地理学特講III A	1	1.5	1 - 5	春ABC	集中			歴史地理学における主要テーマの一つである環境認識研究について、多面的に考察する。	教室: 共同研究棟A505
02DC526	歴史地理学特講III B	1	1.5	1 - 5	秋ABC	集中			近年の歴史地理学において重要な動向の一つとなっている生活史の視点について、多面的に考察する。	
02DC527	歴史地理学特講IV A	1	1.5	1 - 5					歴史地理学における環境認識研究の発達史、現状および今後の課題について、事例を挙げて考察する。	2016年度より3年おき開講。 2019年度開講せず。
02DC528	歴史地理学特講IV B	1	1.5	1 - 5					歴史地理学における生活史研究の意義と実際について、具体的事例を挙げて考察する。	2016年度より3年おき開講。 2019年度開講せず。 参考文献は、授業時に指示する。
02DC529	歴史地理学演習I A	2	1.5	1 - 5	春ABC	火3	人社 B717	中西 僚太郎	中国の近現代の歴史地理学的諸問題について、従来の研究成果を論文の購読を通して学習する。	
02DC530	歴史地理学演習I B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	火3	人社 B717	中西 僚太郎	中国の近現代の旅行記録や地方志、地図資料を具体的に取り上げて、その活用方法を学習する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC531	歴史地理学演習II A	2	1.5	1 - 5					日本の農山漁村の歴史地理学的諸問題について、従来の研究成果を論文の購読を通して学習する。	2019年度開講せず。
02DC532	歴史地理学演習II B	2	1.5	1 - 5					日本の農山漁村の歴史地理学的諸問題に関連する様々な史資料の活用方法を学習する。	2019年度開講せず。
02DC533	歴史地理学演習III A	2	1.5	1 - 5					歴史地理学における生活史の研究動向を検討する。	2019年度開講せず。
02DC534	歴史地理学演習III B	2	1.5	1 - 5					歴史地理学における環境認識研究の動向を検討する。	2019年度開講せず。
02DC535	歴史地理学演習IV A	2	1.5	1 - 5					歴史地理学における環境認識研究の動向を検討する。	2019年度開講せず。
02DC536	歴史地理学演習IV B	2	1.5	1 - 5					環境認識をテーマとする歴史地理学研究の史資料、分析方法、知見、諸課題等について検討する。	2019年度開講せず。
02DC537	歴史地理学基礎実習	3	1.0	1	通年	随時		中西 僚太郎	歴史地理学研究における統計図表の作成方法および地図・主題図の表現方法などについて、課題を与えて指導する。	
02DC538	歴史地理学実習I A	3	1.5	1 - 5					特定地域をフィールドに選び、野外での観察や調査の方法を指導する。	野外調査の具体的な場所と期間については、追って掲示する。 2015年度より4年おき開講。 2019年度開講せず。
02DC539	歴史地理学実習I B	3	1.5	1 - 5					歴史地理学における野外調査結果の分析方法とまとめ方を指導する。	2015年度より4年おき開講。 2019年度開講せず。
02DC540	歴史地理学実習II A	3	1.5	1 - 5					特定地域をフィールドに選び、野外での観察や調査の方法を指導する。	2016年度より4年おき開講。
02DC541	歴史地理学実習II B	3	1.5	1 - 5					歴史地理学における野外実習結果の分析方法とまとめ方を指導する。	2016年度より4年おき開講。
02DC542	歴史地理学実習III A	3	1.5	1 - 5					特定地域をフィールドに選び、野外での観察や調査の方法を指導する。	2017年度より4年おき開講。
02DC543	歴史地理学実習III B	3	1.5	1 - 5					歴史地理学における野外実習結果の分析方法とまとめ方を指導する。	2017年度より4年おき開講。
02DC544	歴史地理学実習IV A	3	1.5	1 - 5					特定地域をフィールドに選び、野外での観察や調査の方法を指導する。	9/26開講。他日程については受講者と相談。 2018年度より4年おき開講。
02DC545	歴史地理学実習IV B	3	1.5	1 - 5					歴史地理学における野外調査結果の分析方法とまとめ方を指導する。	2018年度より4年おき開講。
02DC546	歴史地理学実習V A	3	1.5	1 - 5	春0 夏季 休業中	随時		歴史地理学領域教員	特定地域をフィールドに選び、野外での観察や調査の方法を指導する。	野外調査の具体的な場所と期間については、追って掲示する。
02DC547	歴史地理学実習V B	3	1.5	1 - 5	秋ABC	随時		歴史地理学領域教員	歴史地理学における野外調査結果の分析方法とまとめ方を指導する。	
02DC548	歴史地理学研究基礎演習I A	2	1.5	1	春ABC	応談	人社 B717	歴史地理学領域教員	1年次生段階に応じた歴史地理学の中間評価論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の紹介と討議を通して考える。	
02DC549	歴史地理学研究基礎演習I B	2	1.5	1	秋ABC	応談	人社 B717	歴史地理学領域教員	1年次生段階に応じた歴史地理学の中間評価論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	
02DC550	歴史地理学研究基礎演習II A	2	1.5	2	春ABC	応談	人社 B717	歴史地理学領域教員	2年次生段階に応じた歴史地理学の中間評価論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の紹介と討議を通して考える。	
02DC551	歴史地理学研究基礎演習II B	2	1.5	2	秋ABC	応談	人社 B717	歴史地理学領域教員	2年次生段階に応じた歴史地理学の中間評価論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	
02DC552	歴史地理学研究演習I A	2	1.5	3	春ABC	応談	人社 B717	歴史地理学領域教員	3年次生段階に応じた歴史地理学の学位論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の紹介と討議を通して考える。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC553	歴史地理学研究演習I B	2	1.5	3	秋ABC	応談	人社 B717	歴史地理学領域教員	3年次生段階に応じた歴史地理学の学位論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	
02DC554	歴史地理学研究演習II A	2	1.5	4	春ABC	応談	人社 B717	歴史地理学領域教員	4年次生段階に応じた歴史地理学の学位論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の紹介と討議を通して考える。	
02DC555	歴史地理学研究演習II B	2	1.5	4	秋ABC	応談	人社 B717	歴史地理学領域教員	4年次生段階に応じた歴史地理学の学位論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	
02DC556	歴史地理学研究演習III A	2	1.5	5	春ABC	応談	人社 B717	歴史地理学領域教員	5年次生段階に応じた歴史地理学の学位論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の紹介と討議を通して考える。	
02DC557	歴史地理学研究演習III B	2	1.5	5	秋ABC	応談	人社 B717	歴史地理学領域教員	5年次生段階に応じた歴史地理学の学位論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	
02DC558	歴史地理学研究演習IV A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B717	歴史地理学領域教員	学位論文提出へ向けての具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の検討を通して考える。	
02DC559	歴史地理学研究演習IV B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B717	歴史地理学領域教員	学位論文提出へ向けての具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	
02DC560	歴史地理学研究演習V A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B717	歴史地理学領域教員	学位論文提出に際しての具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の検討を通して考える。	
02DC561	歴史地理学研究演習V B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B717	歴史地理学領域教員	学位論文提出に際しての具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	

専門科目(人類学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC581	先史学研究I A	2	1.5	1・2					人類社会の適応戦略について幅広い視点から考察する先史学の方法と理論について理解を深める。先史時代における不平等さの形成について多面から検討しているテキストを講読し、議論を通して先史時代の社会について考察する。	2017年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
02DC582	先史学研究I B	2	1.5	1・2					人類社会の適応戦略について幅広い視点から考察する先史学の方法と理論について理解を深める。先史時代における不平等さの拡大について多面から検討しているテキストを講読し、議論を通して先史時代の社会について考察する。	2017年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
02DC583	先史学研究II A	2	1.5	1・2					論文講読を中心に、考古科学、考古化学に関する理論と実践について理解を深め、幅広い視点からその結果および課題を考察する。	2017年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
02DC584	先史学研究II B	2	1.5	1・2					実際の物質の観察、分析を通じて、考古科学、考古化学に関する理論と実践について理解を深め、結果および課題を考察する力を養う。	2017年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
02DC585	先史学研究III A	2	1.5	1・2					人類社会の適応戦略について幅広い視点から考察し、先史学の方法と理論について理解を深める。もの作りの技術の中から冶金術に焦点を当て、その技術的特性ならびに研究方法について理解を深める。	2018年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
02DC586	先史学研究III B	2	1.5	1・2					人類社会の適応戦略について幅広い視点から考察し、先史学の方法と理論について理解を深める。世界の各地域における冶金術の発展の様相について検討しながら、世界的な視野から冶金術の意義について考える。	2018年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
02DC587	先史学研究IV A	2	1.5	1・2					自分の関心のある領域に引き付けて、考古科学、考古化学に関する理論と実践について論文講読を中心に理解を深め、幅広い視点からその結果および課題を考察する力を養う。	2018年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
02DC588	先史学研究IV B	2	1.5	1・2					Aでの理論を踏まえて、実際の物質の観察、分析を通じて、考古科学、考古化学に関する理論と実践について理解を深め、結果および課題を考察する力を養う。	2018年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
02DC589	先史学研究V A	2	1.5	1・2	春ABC	月5	人社 B717	三宅 裕	狩猟採集社会の特徴について多面から検討しているテキストを講読し、議論を通じて先史時代の社会について考察する。	2019年度より2年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC590	先史学研究V B	2	1.5	1・2	秋ABC	月5	人社B717	三宅 裕	初期農耕社会の特徴について多方面から検討しているテキストを講読し、議論を通じて先史時代の社会について考察する。	2019年度より2年おき開講。
02DC591	先史学研究VI A	2	1.5	1・2	春ABC	金3		谷口 陽子	受講生の研究テーマを考慮のうえ、Ancient Egyptian Materials and Technologyのパート1(Inorganic materials:石材、土製品、ファイアンス、ガラス、金属)からテーマをいくつか選択し、物質文化を形作る材料や技術に関する知見を得る。受講生のテーマに引きつけて、地域や時代を変えながら比較を行う。各回のテーマについて、毎回1名の受講生が章の内容についてまとめ、次に、最新の研究成果についてまとめる。最後に、別地域、別時代の事例を対象として考察を加える。	2019年度より2年おき開講。
02DC592	先史学研究VI B	2	1.5	1・2	秋ABC	金3		谷口 陽子	受講生の研究テーマを考慮のうえ、Ancient Egyptian Materials and Technologyのパート2(Organic materialsおよびパート3(Food technology)からテーマをいくつか選択し、物質文化を形作る材料や技術に関する知見を得る。受講生のテーマに引きつけて、地域や時代を変えながら比較を行う。各回のテーマについて、毎回1名の受講生が章の内容についてまとめ、次に、最新の研究成果についてまとめる。最後に、別地域、別時代の事例を対象として考察を加える。	2019年度より2年おき開講。
02DC595	考古学研究I A	2	1.5	1・2					古墳時代は日本列島の国家形成期と位置づけられ、汎列島規模での階層的な政治組織が成立した時期であると考えられる。この授業では、古墳の存在形態に関する従来の議論を批判的に検討することをつづじて、古墳時代における政治組織の変遷とその特質を考察する。	2017年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
02DC596	考古学研究I B	2	1.5	1・2					古墳時代は、近畿地方の政治勢力を中心として日本列島の広い範囲にわたる政治的統合が進展した時期と考えられる。その一方で、地域的な偏在性を示す考古資料も数多く存在し、それらの資料の分析からさまざまなレベルでの地域集団の存在も想定される。この授業では、そうした地域的な偏在性を示す考古資料を取り上げて、古墳時代の地域社会とその特質について考察する。	2017年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
02DC597	考古学研究II A	2	1.5	1・2					The Ancient West Asian civilization, which had emerged long before Islam surfaced in the Middle East, was an extremely important civilization because it laid the foundation for elements necessary in all modern human societies, from fundamental foodstuff, technological innovation, social systems to the spiritual life. In this class, we examine the conditions of "advancedness" and "universality" of ancient West Asian civilization, and try to illuminate why and how the civilization was able to survive a series of great transitions in human history.	2017年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
02DC598	考古学研究II B	2	1.5	1・2					Life and Another world for the ancient Near Eastern People. How did people treat the dead?	2017年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
02DC599	考古学研究III A	2	1.5	1・2					弥生時代から古墳時代にかけての社会的変化を理解するにあたり、前方後円墳に代表される古墳がどのような経緯で成立したのかを明らかにすることは、きわめて重要な研究課題である。この授業では、弥生墳丘墓の諸要素を整理するとともに、前方後円墳に代表される初期の古墳がそれらとどのような関係にあるのかを検討することにより、古墳出現の歴史的意義を考察する。	2018年度より2年おき開講。
02DC600	考古学研究III B	2	1.5	1・2					古墳時代の特徴の一つは、弥生時代以来の社会変化をつづじて出現した各地の首長層が広域の交流を実現した点に求めることができる。その交流は、中央と地方の関係にとどまらず、地方と地方の関係においても認められ、その交流内容は、政治、経済、宗教、軍事などの多方面にわたっている。この授業では、古墳時代の首長間交流を示す考古資料を検討することにより、首長間交流の実態や背景を明らかにし、古墳時代首長層の結合形態を考察する。	2018年度より2年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC601	考古学研究Ⅳ A	2	1.5	1・2					葬送の考古学:人はなぜ死者を埋葬するようになったのか、埋葬することでのなにを表現しようとしたのか、埋葬後の葬送儀礼の意味と、その変遷などについて、本研究参加者それぞれの研究テーマで考える。	2018年度より2年おき開講。
02DC602	考古学研究Ⅳ B	2	1.5	1・2					現代の考古学:考古学研究の現代的意味について、本研究の参加者それぞれのテーマで考察を深める。	2018年度より2年おき開講。
02DC603	考古学研究Ⅴ A	2	1.5	1・2	春ABC	木5		滝沢 誠	古墳時代各時期の代表的な副葬品を順次取り上げ、器物としての特徴や副葬時の取り扱いなどについて、毎回1名の受講生が研究報告を行う。その内容について全体で討議し、古墳副葬品のあり方から各時期における古墳時代首長層の性格を考察する。	
02DC604	考古学研究Ⅴ B	2	1.5	1・2	秋ABC	木5		滝沢 誠	弥生時代及び古墳時代に認められる主要な武器・武具を取り上げ、毎回1名の受講生が研究報告を行う。その内容について全体で討議し、武器・武具の発達と組織的戦闘のかかわりを考察する。	
02DC605	考古学研究Ⅵ A	2	1.5	1・2	春ABC	火4	人社 B717	常木 晃	葬送の考古学:人はなぜ死者を埋葬するようになったのか、埋葬することでのなにを表現しようとしたのか、埋葬後の葬送儀礼の意味と、その変遷などについて、本研究参加者それぞれの研究テーマで考える。	
02DC606	考古学研究Ⅵ B	2	1.5	1・2	秋ABC	火4	人社 B717	常木 晃	現代の考古学:考古学研究の現代的意味について、本研究の参加者それぞれのテーマで考察を深める。	
02DC607	考古学研究Ⅶ A	2	1.5	1・2						2019年度開講せず。
02DC608	考古学研究Ⅶ B	2	1.5	1・2						2019年度開講せず。
02DC609	先史学・考古学基礎実習	3	3.0	1・2	秋B	集中		先史学・考古学領域教員	発掘調査や測量調査などのフィールドワークに参加し、基本的な作業を体得する。また、同時にフィールドワークに参加している学群生を指導し、調査指導者として必要な基礎的能力を養う。	日程については受講者と相談。
02DC610	先史学・考古学実習	3	3.0	3 - 5	秋B	集中		先史学・考古学領域教員	発掘調査や測量調査などのフィールドワークに主導的な立場で参加し、調査を遂行していく方法について学ぶ。	
02DC611	先史学・考古学基礎研究Ⅰ A	2	1.5	1	春ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	過去における人類社会の復元とその変遷過程に関する具体的な研究を題材として取り上げ、それについて検討、討議する。	
02DC612	先史学・考古学基礎研究Ⅰ B	2	1.5	1	秋ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	過去における人類社会の復元とその変遷過程に関する具体的な研究を題材として取り上げ、それについて検討、討議する。	
02DC613	先史学・考古学基礎研究Ⅱ A	2	1.5	2	春ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	修士論文(中間評価論文)の研究テーマに即した題材を取り上げ、それについて検討、討議する。	
02DC614	先史学・考古学基礎研究Ⅱ B	2	1.5	2	秋ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	修士論文(中間評価論文)の研究テーマに即した題材を取り上げ、それについて検討、討議する。	
02DC615	先史学・考古学研究Ⅰ A	2	1.5	3	春ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC616	先史学・考古学研究Ⅰ B	2	1.5	3	秋ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC617	先史学・考古学研究Ⅱ A	2	1.5	4	春ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC618	先史学・考古学研究Ⅱ B	2	1.5	4	秋ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC619	先史学・考古学研究Ⅲ A	2	1.5	5	春ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC620	先史学・考古学研究Ⅲ B	2	1.5	5	秋ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC621	先史学・考古学研究IV A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC622	先史学・考古学研究IV B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC623	先史学・考古学研究V A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC624	先史学・考古学研究V B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC643	民俗学特講II A	1	1.5	1・2	春ABC	木2	人社 B717	徳丸 亜木	民俗学における近年の信仰伝承研究の動向について講義を通じて理解するとともに、民俗学ならびに関連分野の論文を講読し、受講者それぞれの研究関心からの検討を加え議論する。	西暦奇数年度開講。
02DC644	民俗学特講II B	1	1.5	1・2	秋ABC	木2	人社 B717	徳丸 亜木	「祖先祭祀研究・葬制墓制研究の現在」をテーマとして、日本および東アジアの葬制に関する民俗学および文化人類学の研究について講義を受講した上で、全員で論文を講読し、議論する形式をとる。	西暦奇数年度開講。
02DC645	民俗学特講III A	1	1.5	1・2	春ABC	火5,6	人社 B717	中野 泰	主として日本の「漁業」の民俗を対象に、民俗学初期の古典的研究から精読を行い、輪読形式で、その枠組みと方法を批判的に検討しながら、民俗学的視点と方法を展望することを目的とする。	01DQ397と同一。
02DC646	民俗学特講III B	1	1.5	1・2	秋ABC	火5,6	人社 B717	中野 泰	今日の「漁業」や「漁村」は、顕著な少子・高齢化に晒され、その持続可能性が問われている。本講義では、「漁業」をとりまくサブシステムの動態を対象に、領域横断的な研究例の検討を行う。日本に事例を主として、日本以外の例をも参照し、今日の「漁業」研究の視点と方法について展望することを目的とする。	01DQ398と同一。
02DC647	民俗学特講IV A	1	1.5	1・2					日本社会の地域的差違と地域性に関する民俗学及び周辺諸科学における代表的論文・著作の講読を行い、日本社会の多元性について考察を深める。	2019年度開講せず。
02DC648	民俗学特講IV B	1	1.5	1・2					日本社会の地域的差違と地域性に関する民俗学及び周辺諸科学における代表的論文・著作の講読を行い、日本社会の多元性について考察を深める。	2019年度開講せず。
02DC649	民俗学特講V A	1	1.5	1・2	春ABC	金2	人社 B717	武井 基晃	人びとの生活に密接に関わる制度・法令に応じて、人びとの日常的な営為は法制度遵守の範囲内で執り行われている、はずである。法令上でできないこと、合わせざるを得なかったことなどが生活・行動にいかにか影響したかを考える。	西暦奇数年度開講。 01DQ349と同一。
02DC650	民俗学特講V B	1	1.5	1・2	秋ABC	金2	人社 B717	武井 基晃	現地調査によって得られた事例についてA(過去)→B(現状)という事例の変容にとどまらず、A'(過去にあり得た事例)、B'(いずれあり得る事例)など、その過去・現在・将来まで変遷と展開を検討する。	西暦奇数年度開講。 01DQ350と同一。
02DC651	民俗学演習I A	2	1.5	1・2					民俗学の目的、概念、方法について、学史をふまえながら整理し、自己の研究が学史のどこに位置づけられ、現代にどのような意義を持つのかについてまとめる。	2019年度開講せず。 隔週開講
02DC652	民俗学演習I B	2	1.5	1・2					各自フィールドデータに基づく研究発表を中心に、学史上の位置、現代における意義について討論を重ねる。	2019年度開講せず。 隔週開講
02DC653	民俗学演習II A	2	1.5	1・2					本演習では、主に歴史民俗学的視点に関わる民俗学研究ならびに、歴史学・文化人類学・社会学・宗教学など関連領域の研究から文献を選び、講読し、批判的に検討する事により、参加者各々が歴史民俗学的研究に関する知見を深め、自らの研究課題に関わる方法論への検討を行う。参加者は、担当する文献に対して検討を加え、その発表を基に全員で討論を行う。討論への積極的な参加姿勢が望まれる。	西暦偶数年度開講。
02DC654	民俗学演習II B	2	1.5	1・2					祖先祭祀研究・葬制墓制研究の現在」をテーマとして、日本および東アジアの葬制に関する民俗学および文化人類学の研究論文を講読し、検討する。参加者は、担当する文献に対して検討を加え、その発表を基に全員で討論を行う。討論への積極的な参加姿勢が望まれる。	西暦偶数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC655	民俗学演習III A	2	1.5	1・2					「漁業」の民俗を対象に、古典的研究の批判的検討を通じて、民俗学的視角と方法を展望することを目的とする。	01DQ359と同一。 2019年度開講せず。 隔週開講
02DC656	民俗学演習III B	2	1.5	1・2					「漁業」をとりまくサブシステムの動態を対象に、民俗学的研究視角と方法について領域横断的に展望することを目的とする。	01DQ360と同一。 2019年度開講せず。
02DC657	民俗学演習IV A	2	1.5	1・2					家族・婚姻・親族・死生観などに関する民俗学及び周辺諸科学における代表的論文・著作の講読を行う。	2019年度開講せず。
02DC658	民俗学演習IV B	2	1.5	1・2					家族・婚姻・親族・死生観などに関する民俗学及び周辺諸科学における代表的論文・著作の講読を行い、各自の研究課題を学史の観点から再検討する。	2019年度開講せず。
02DC659	民俗学演習V A	2	1.5	1・2					戦後台湾の民俗誌・実例をふまえながら、家族という研究対象について様々な方向から検討し、理解する。	01DQ347と同一。 2019年度開講せず。
02DC660	民俗学演習V B	2	1.5	1・2					戦前～戦中の日本統治下における台湾の社会と民俗の研究について当時の資料をもとに理解する	01DQ348と同一。 2019年度開講せず。
02DC661	民俗学研究法特講I A	1	1.5	1・2					フィールドノートのテクストクリティークを行いながら、フィールドワークに基づく民俗(族)誌の意義と可能性について、民俗学的理解を深める。	西暦偶数年度開講。 01DQ357と同一。 2019年度開講せず。 隔週開講
02DC662	民俗学研究法特講I B	1	1.5	1・2					フィールドノートと民俗誌のテクストクリティークを行いながら、民俗学的フィールドワークに基づく民俗(族)誌の意義と可能性について、領域横断的な理解を深める。	西暦偶数年度開講。 01DQ358と同一。 隔週開講
02DC665	民俗誌学演習 A	2	1.5	1・2					日本をフィールドとした民俗(族)誌を輪読し、その研究枠組みについて、その形成過程から理解することを目標とする。	2019年度開講せず。
02DC666	民俗誌学演習 B	2	1.5	1・2					日本をフィールドとした民俗(族)誌を輪読し、その研究枠組みの今日的広がりや意義について理解することを目標とする。	2019年度開講せず。
02DC667	民俗学研究法実習I A	3	1.5	1	春ABC	応談		民俗学コース教員	1年次生を対象に、フィールドワークの深め方と総合化等、今後の民俗学研究の基礎となる研究法を訓練する。フィールドや調査テーマについての事前学習会実施を補助する。	
02DC668	民俗学研究法実習I B	3	1.5	1	秋A	集中		民俗学コース教員	1年次生を対象に、フィールドや調査テーマについての事前学習会実施の補助を継続し、実習前に予備調査を行う。10月末頃に1週間程度のフィールドワークを行い、フィールドワークで得られた資料を基にして報告書を作成する。	
02DC669	民俗学研究法実習II A	3	1.5	3	春ABC	応談		民俗学コース教員	3年次生を対象に、実習に関わる事前学習会、フィールドの選定並びに予備調査に主体的に関わり、調査と研究の方法全般についてより高度な訓練を行う。	
02DC670	民俗学研究法実習II B	3	1.5	3	秋A	集中		民俗学コース教員	3年次生を対象に、実習に関わる事前学習会、フィールドの選定並びに予備調査、本調査、事後学習会に主体的に関わる事により、特定地域の民俗調査とその報告、民俗調査の実務、およびフィールドワークの指導方法を学ぶ。研究テーマに即したレポートや小論文の執筆を課す。	
02DC671	民俗学基礎研究I A	2	1.5	1	春ABC	水2,3	人社B717	民俗学コース教員	中間評価論文の完成を目標として、論文執筆に関わる指導を行う。1年次生を対象とする基礎的セミナー。卒業論文までの研究テーマについての研究発表に基づき、参加者による討論を行う。	
02DC672	民俗学基礎研究I B	2	1.5	1	秋ABC	水2,3	人社B717	民俗学コース教員	中間評価論文の完成を目標として、論文執筆に関わる指導を行う。1年次生を対象とする基礎的セミナー。中間評価論文で扱う研究テーマについて資料収集を進め、整理を成し得た資料に基づいて研究発表を行い、参加者による討論を行う。	
02DC673	民俗学基礎研究II A	2	1.5	2	春ABC	応談	人社B717	民俗学コース教員	中間評価論文の完成を目標として、調査内容の設定、論文の構想に関わる指導を行う。2年生を対象とする初級セミナー。今後の研究課題を明確化し、修士論文を完成させる。	
02DC674	民俗学基礎研究II B	2	1.5	2	秋ABC	応談	人社B717	民俗学コース教員	中間評価論文の完成を目標として、論文の構想、資料提示と論旨の展開方法など論文執筆に関わる指導を行う。2年生を対象とする初級セミナー。参加者各人が自己の中間評価論文テーマに関する研究発表を行い、修士論文を完成させる。	
02DC675	民俗学研究I A	2	1.5	3	春ABC	応談	人社B717	民俗学コース教員	3年次生を対象とする中級セミナー。博士論文のテーマ選定を目標として、論文執筆に関わる指導を行う。	
02DC676	民俗学研究I B	2	1.5	3	秋ABC	応談	人社B717	民俗学コース教員	3年次生を対象とする中級セミナー。博士論文に向けての研究計画、調査計画に関わる指導を行う。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC677	民俗学研究II A	2	1.5	4	春ABC	応談	人社 B717	民俗学コース教員	4年次生を対象とする中級セミナーの後半。博士論文の完成を目標として、論文執筆に関わる指導を行う。	
02DC678	民俗学研究II B	2	1.5	4	秋ABC	応談	人社 B717	民俗学コース教員	4年次生を対象とする中級セミナーの後半。具体的な調査データに基づいて博士論文の全体構成を検討する。	
02DC679	民俗学研究III A	2	1.5	5	春ABC	応談	人社 B717	民俗学コース教員	5年次生を対象とする上級セミナー。博士論文の完成を目標として、概要および課題について指導を行う。	
02DC680	民俗学研究III B	2	1.5	5	秋ABC	応談	人社 B717	民俗学コース教員	5年次生を対象とする上級セミナー。実際に論文を執筆しながらさらに研究課題を明確化し、博士論文を完成させる。	
02DC681	民俗学研究IV A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B717	民俗学コース教員	5年生を対象とし、博士論文完成に向けて、課題、論理構成について研究発表をする。	
02DC682	民俗学研究IV B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B717	民俗学コース教員	5年生を対象とし、博士論文の完成を目標として、事例の分析・考察についてより高度な発表を行う。	
02DC683	民俗学研究V A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B717	民俗学コース教員	5年次生を対象として、論文執筆に関わる指導と議論を通して、博士論文を完成させる。	
02DC684	民俗学研究V B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B717	民俗学コース教員	5年次生を対象として、博士論文の各章について事例の分析・考察をより高度化させ発表し、博士論文を完成させる。	
02DC701	文化人類学特講I A	1	1.5	1・2					民族誌と理論の関係および人類学的方法論的な課題について、議論する。民族誌的な事例を取り上げつつ、様々なテーマと多様な方法論の問題について議論する。	2019年度開講せず。英語と日本語で授業。
02DC702	文化人類学特講I B	1	1.5	1・2					民族誌と理論の関係および人類学的方法論的な課題について、議論する。民族誌的な事例を取り上げつつ、様々なテーマと多様な方法論の問題について議論する。	2019年度開講せず。英語と日本語で授業。
02DC703	文化人類学特講II A	1	1.5	1・2					宗教人類学の民族誌を精読し、精神分析のアプローチの有効性について考察する。	2019年度開講せず。
02DC704	文化人類学特講II B	1	1.5	1・2					ポストヒューマンの人類学をアプローチを概観し、原発事故、放射能汚染の事例を使いながらその可能性と限界について考察する。	2019年度開講せず。
02DC705	文化人類学特講III A	1	1.5	1・2	春ABC	金3	人社 B717	内山田 康	Alfred GellのArt and Agency第9章“The Extended Mind”(1998)および彼の死後刊行された“The Networks of Standard Stoppages”(1985)を読むに当たり、上記の問題に着目して取り組むためには何をどうしたら良いのかについて、参加者に発表してもらい、その内容についてディスカッションをした後、ジェルが事例として取り上げるデュシャンと同時代のジェームズ、ペルクソン、フッサールの持続と4次元問題についてテキストを読み、ディスカッションを行い、次のテキストを読み、ディスカッションをする方法で授業を行う。	
02DC706	文化人類学特講III B	1	1.5	1・2	秋ABC	金3	人社 B717	内山田 康	Bruno Latour et al (1979) Laboratory Lifeと近年のポストヒューマン人類学的方法論的な連続性と日連続性について(1)ハイブリッドと(2)政治に着目して考察を進める。	
02DC707	民族誌学I A	1	1.5	1・2					事例を通じて、人類学の方法である民族誌について批判的に検討する。	2019年度開講せず。
02DC708	民族誌学I B	1	1.5	1・2					事例を通じて、人類学の方法である民族誌について批判的に検討する。	01DP706と同一。2019年度開講せず。
02DC709	民族誌学II A	1	1.5	1・2	春ABC	火4		木村 周平	クリティカルに人類学するために、どのような民族誌の記述の方法があるのか? どのような理論の使い方が良いのか? どのような議論の方法があるのか? 具体的な事例研究を通して、これらの間に実践的に答えるトレーニングを行う。	01DP707と同一。英語と日本語で授業
02DC710	民族誌学II B	1	1.5	1・2	秋ABC	火4		木村 周平	クリティカルな人類学を書くために、どのような民族誌の記述の方法があるのか? どのような理論の使い方が良いのか? どのような議論の方法があるのか? 具体的な事例研究を通して、これらの間に実践的に答えるトレーニングを行う。	01DP708と同一。英語と日本語で授業
02DC711	民族誌学III A	1	1.5	1 - 5					Alfred GellのArt and Agency: An Anthropological Theory(AA)を精読しながらAAに何が書かれているかをまず正確に理解する。さらにAA以外のGellの著作その他を読み直してGellが書きたかったことは一体何だったのかについて考察する。最後に未完の部分を補ってAAの全体像を再構成するエクササイズを行う。	2019年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC712	民族誌学III B	1	1.5	1-5					第一次世界大戦から現代に至るまでの一世に渡る科学の実践、国家プロジェクトの展開、科学の知の歴史的展開の中に、今日の科学と科学の人類学の知を位置づけ直し、科学としての科学の人類学が抱える問題およびその可能性と限界について考察する。	2019年度開講せず。
02DC713	文化人類学演習I A	2	1.5	1-2					The focus of this graduate level seminar is on recent work in posthumanities.	2019年度開講せず。 英語と日本語で授業。
02DC714	文化人類学演習I B	2	1.5	1-2					The focus of this graduate level seminar is on writing ethnography.	2019年度開講せず。 英語と日本語で授業。
02DC715	文化人類学演習II A	2	1.5	1-2					This seminar will explore ethics as a dimension of anthropological inquiry through a close reading of James Laidlaw's The Subject of Virtue, and other essays related to the recent "Ethical Turn" in anthropology.	2019年度開講せず。
02DC716	文化人類学演習II B	2	1.5	1-2						2019年度開講せず。
02DC717	文化人類学演習III A	2	1.5	1-2						2019年度開講せず。 英語と日本語で授業。
02DC718	文化人類学演習III B	2	1.5	1-2					人類学の主要なテーマ、様々な記述の仕方、概念の使い方を参照しつつ、民族誌を書くトレーニングを行う。	2019年度開講せず。 英語と日本語で授業。
02DC719	民族誌学演習I A	2	1.5	1-2					事例を通じて、人類学の方法である民族誌について批判的に検討する。今回は特に主体性、苦しみ、情動(subjectivity, suffering, and affection)をテーマに、1980年代以降の研究手法について扱う。	2019年度開講せず。 英語と日本語で授業。
02DC720	民族誌学演習I B	2	1.5	1-2					事例を通じて、人類学の方法である民族誌について批判的に検討する。今回は特に物質性(materiality)をテーマに、物質文化研究から科学技術社会論に至るアプローチについて理解を深める。	2019年度開講せず。 英語と日本語で授業。
02DC721	民族誌学演習II A	2	1.5	1-2					フィールドで人類学の概念を見だし、これを使って世界をクリティカルに記述し直す様々な技法について、事例研究を行う。	2019年度開講せず。 英語と日本語で授業。
02DC722	民族誌学演習II B	2	1.5	1-2					クリティカルな人類学を書くために、どのような民族誌の記述の方法があるのか？どのような理論の使い方が良いのか？どのような議論の方法があるのか？具体的な事例研究を通して、これらに実践的に答えるトレーニングを行う。	2019年度開講せず。 英語と日本語で授業。
02DC723	民族誌学演習III A	2	1.5	1-2					現実世界とより深く関わる人類学のあり方を、近年の研究成果を検討しつつ、具体的な事例を通して探求する。	2019年度開講せず。 英語と日本語で授業。
02DC724	民族誌学演習III B	2	1.5	1-2					現実世界とより深く関わる人類学・民族誌のあり方を、具体的な事例についての検討と議論を通して探求する。	2019年度開講せず。 英語と日本語で授業。
02DC725	文化人類学研究法実習I A	3	1.5	1	春ABC	応談		文化人類学コース教員	1年次生を対象として、フィールドワークの方法論を実践的に学ぶ。	英語と日本語で授業。 Cモジュールは英語を用いる
02DC726	文化人類学研究法実習I B	3	1.5	1	秋ABC	応談		文化人類学コース教員	1年次生を対象として、修士論文作成に向けたフィールドワークの実践的遂行能力を養う。	英語と日本語で授業。 Cモジュールは英語を用いる
02DC727	文化人類学研究法実習II A	3	1.5	3	春ABC	応談		文化人類学コース教員	3年次生を対象として、博士論文作成に向けてフィールドワークの方法論を実践的に学ぶ。	英語と日本語で授業。 Cモジュールは英語を用いる
02DC728	文化人類学研究法実習II B	3	1.5	3	秋ABC	応談		文化人類学コース教員	3年次生を対象として、博士論文作成に向けたフィールドワークの実践的遂行能力を養う。	英語と日本語で授業。 Cモジュールは英語を用いる
02DC729	文化人類学基礎研究I A	2	1.5	1	春ABC	応談	人社B817	文化人類学コース教員	1年次生を対象として、学生各自が修士論文に関わる理論や地域情報に関する発表を行う。	英語と日本語で授業。 Cモジュールは英語を用いる
02DC730	文化人類学基礎研究I B	2	1.5	1	秋ABC	応談	人社B817	文化人類学コース教員	1年次生を対象として、学生各自が理論や文献に関する発表を行い、修士論文の研究課題を決定する。	英語と日本語で授業。 Cモジュールは英語を用いる
02DC731	文化人類学基礎研究II A	2	1.5	2	春ABC	応談	人社B817	文化人類学コース教員	2年次生を対象として、学生各自が修士論文の研究課題に沿って民族誌および理論について発表する。	英語と日本語で授業。 Cモジュールは英語を用いる
02DC732	文化人類学基礎研究II B	2	1.5	2	秋ABC	応談	人社B817	文化人類学コース教員	2年次生を対象として、学生各自が研究課題に即した発表を行い、論文の作成能力を養う。	英語と日本語で授業。 Cモジュールは英語を用いる
02DC733	文化人類学研究I A	2	1.5	3	春ABC	応談	人社B817	文化人類学コース教員	3年次生を対象として、学生各自が博士論文の研究課題に沿って民族誌および理論について発表する。	英語と日本語で授業。 Cモジュールは英語を用いる

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC734	文化人類学研究Ⅰ B	2	1.5	3	秋ABC	応談	人社 B817	文化人類学コース教員	3年次生を対象として、学生各自が博士論文の研究課題に即して対象社会の情報を分析し、発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC735	文化人類学研究Ⅱ A	2	1.5	4	春ABC	応談	人社 B817	文化人類学コース教員	4年次生を対象として、博士論文の執筆に向けて、学生各自がフィールドワークで収集した資料を整理・分析して発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC736	文化人類学研究Ⅱ B	2	1.5	4	秋ABC	応談	人社 B817	文化人類学コース教員	4年次生を対象として、学生各自が博士論文の研究課題に即した対象社会の情報を分析し、比較考察した成果を発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC737	文化人類学研究Ⅲ A	2	1.5	5	春ABC	応談	人社 B817	文化人類学コース教員	5年次生を対象として、学生各自が博士論文の研究課題およびその構成を発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC738	文化人類学研究Ⅲ B	2	1.5	5	春ABC	応談	人社 B817	文化人類学コース教員	5年次生を対象として、学生各自が博士論文について民族誌の記述、理論に関わる分析を発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC739	文化人類学研究Ⅳ A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B817	文化人類学コース教員	5年次生を対象として、学生各自が博士論文の各章について理論的考察を交えて発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC740	文化人類学研究Ⅳ B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B817	文化人類学コース教員	5年次生を対象として、博士論文完成に向けて、学生各自が民族誌の記述、理論に関わる分析・考察をより精緻化させて発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC741	文化人類学研究Ⅴ A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B817	文化人類学コース教員	5年次生を対象として、博士論文完成に向けて、学生各自が民族誌の記述、理論に関わる分析・考察をより高度化させて発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC742	文化人類学研究Ⅴ B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B817	文化人類学コース教員	5年次生を対象として、博士論文の各章について、学生各自が理論に関わる分析・考察をより高度化させ発表し、博士論文を完成させる。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる